



秋が日毎に深まってきました。まだ、紅葉には少し早いようですが、すすきの穂が銀色に輝くのをみると秋の深まりを感じます。

さて、図書館では「英国フェア」と題して以下の本を別置しています。お気に入りの本が見つければよいですね。

『おいしい紅茶の事典』成美堂出版（編集） 『英国ティーカップの歴史』Cha Tea 紅茶教室（著）

『もしも、エリザベス女王のお茶会に招かれたら?』藤枝理子（著） 『英国ファンタジー紀行』山内史子（文）
松隅直樹（写真）『ハリーポッターへの旅』MOE 編集部+山内史子（著）

第77回読書週間が始まりました

10/27~11/9



図書館では、図書館に親しみ読書の喜びを味わってほしいと願い、毎年この時期に図書館主催の行事を行っています。

「読書週間」のポスターを描いてくれました。どれもこれも力作ぞろいです。原画は図書館に飾っています。ぜひ、見に来て下さい。



読書週間とは・・・

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」と出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月7日から23日でした。これは、アメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組がつけられました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国になりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりの読書のすばらしさを知ってもらうきっかけになることを願っています。

(公益社法人読書推進運動協議会)



♪♪新しい本がいっぱい♪♪

*書架に配架している本もあります。カウンターで聞いてください。

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



	書名	著者名	出版社	分類番号
1	ランプシェード	松岡享子	東京子ども図書館	019.5
2	マインドコントロールの仕組み	西田公昭 (監)	カンゼン	145.4
3	岩波講座世界歴史⑩⑫⑬	荒川正晴 他 (編)	岩波書店	209
4	関東大震災 郵便と資料が語る100年前の大災害	震災郵趣研究会	日本郵便出版	210.69
5	ニュートンのりんごの木	大野誠	南窓社	289.3
6	キャッシュレス決済しっかりわかる教科書	キャッシュレス決済研究会	技術評論社	338
7	お金で泣かないための本	千葉保 他	太郎次郎社エディタ ス	338.7
8	やってよかった育児パパ	谷沢英夫	新評論	367.2389
9	サバイバル防災事典	サバイバル防災研究会	マイクロマガジン社	369.3
10	なるには Books 別巻 中高生の防災ブック	益田美樹	ペリかん社	369.3
11	汚染水海洋放出の争点	渡辺悦司 他	緑風出版	369.36
12	デジタル・シティズンシップ+	坂本旬 他	大月書店	375
13	美ら海トワイライトゾーン	佐藤桂一	産業編集センター	481.74
14	地球にじいろ図鑑 鉱物×日本の伝統色	茜灯里	化学同人	459
15	岩波科学ライブラリー320 竹取高額物語	佐藤太裕	岩波書店	511.41
16	なるには Books55 不動産鑑定士・宅地建生の取引士になるには	いのうえりえ	ペリかん社	673.99
17	図鑑はじめての絵画		小学館	720.36
18	100年後への置き手紙	井田幸昌	小学館	723.1
19	ルポ筋肉と脂肪アスリートに訊け	平松洋子	新潮社	780.19
20	句読点活用辞典	大類雅敏	栄光出版社	811.7
21	12歳までに知っておきたい語彙力図鑑	齋藤孝	日本能率協会マネジメントセンター	814
22	楽園	谷川俊太郎	Two Virgins	748/911.56
23	いつまでも	畠中恵	新潮社	913.6
24	やさしい猫	中島京子	中央公論新社	913.6
26	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	汐見夏衛	スターツ出版	913.6
27	薬屋のひとりごと⑭	日向夏	イマジカインフォス	913.6

(続きの漫画)

書名	著者名	出版社
薬屋のひとりごと⑫	日向夏 (原作) / ねこクラゲ (作画)	スクウェア・エニックス
プラタナスの実⑩	東元俊哉	小学館
きのう何食べた?⑫	よしながふみ	KODANSHA



